



北村 あや子 区政ニュース

コミュニティバス「さくら」「汐入さくら」減便へ

1月25日に地域交通会議が行われ、現在運航しているコミュニティバス路線の減便が報告されました。慢性的な運転手不足に加え、4月からの自動車運転手の労働時間などの基準改正で、現状の便数維持が困難ということです。住民の足を守るために荒川区が事業者に支援を行うべきではないでしょうか。

「町屋さくら」ルートが廃止されて2年が経とうとしています。荒川区はコミュニティバスの運行に関して補助を一切行っていません。コミュニティバスは住民の足となる重要な事業であるため、お隣の台東区を含め他の自治体では、採算のとれない事業であっても公費を入れて、継続、拡大をし、地域交通を守っています。

現在、尾久地域ではなじみの薄いコミュニティバスですが、昨年行った区民アンケートでも尾久地域にコミュニティバスを通してほしいというご要望をいただいています。ご高齢のかたも小さなお子さんづれも、区内を移動しやすい環境を整えることが求められます。



デマンド交通実証運行は3月で終了

「町屋さくら」ルートで、2023年7月から実証運行を行っているデマンド交通は、1日あたりの利用者数は0.83人…。今年3月の運行でいったん終了すると地域交通会議で報告されました。

実証運行の実績（令和5年12月末時点）

運行日数	123日
登録者数	131名
予約件数	91件
利用者数	102名
1日当たりの利用者数	0.83人/日

尾久消防団始式が行われました



尾久消防署内災害状況(速報値)

	令和5年	令和4年	前年比
火災件数	28件	20件	8件
焼損床面積	167㎡	350㎡	-183㎡
死者	1名	2名	-1名
傷者	6名	5名	1名
救急件数	6,919件	6,389件	530件
救護人員	6,059名	5,428名	631名

1月21日ムーブ町屋で尾久消防団始式が行われ、私も参加させていただきました。地域防災の要として、日々活動している消防団員さん、いつもありがとうございます。

空気が乾燥しています。火事にならないよう、日頃から気を付けましょう。

日時: 2024年2月16日(金) 18:30~20:00

会場: 北村あや子事務所(西尾久2-4-8)

TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

日々の生活、仕事、相続・・・ひとりで悩まずに相談を。

弁護士と北村がお話をうかがいます。生活相談はいつでもお気軽にどうぞ。



発行: 日本共産党議員団 TEL: 3802-4627 FAX: 3806-9246

e-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX: 3894-6668



受験シーズン本番 高等教育学費値下げを



大学、高校、中学などの受験シーズンとなりました。感染性胃腸炎、インフルエンザが荒川区でも流行しています。新型コロナも増加傾向にあります。睡眠を十分にとって消化の良いものをとるなど、今は体調管理をしていただきたいと思います。受験生のみなさん、これまでの学びを入試で発揮できるよう、私も応援しています。

都民の要望の中から、教育に関する東京都の支援も拡充してきました。荒川区でも、条件を満たせば返済しなくてよい奨学資金貸付制度や、保育士資格取得支援がありますので、ご紹介します。

東京都の学費など助成制度(都民対象)

大学・高校:2024 年度から私立を含む全ての高校と、都立大学の「実質無償化」

私立中学:私立中学に通う生徒の保護者に 10 万円(年間)を補助。都外の私立中学校等も対象

*上記どちらも 2024 年度から所得制がなくなります



受験生チャレンジ支援貸付事業(学習塾費用や受験費用を無利子で借りられる制度)

荒川区の教育・就学の支援【問合せ:教育委員会事務局学務課 電話番号:03-3802-3111(内線:3337)】

荒川区奨学資金貸付制度、荒川区保育士等支援奨学金事業補助金など。

詳細は左の QR コードで区の HP をご参照ください。

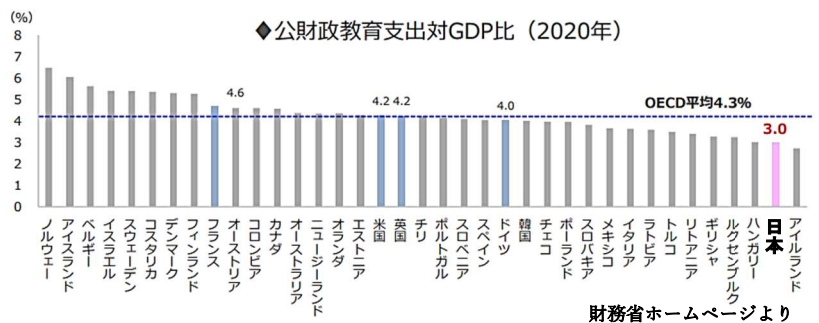
多子世帯だけ大学無料?!

国は「異次元の少子化対策」の一環として、子どもが 3 人以上いる世帯については、所得制限なしで大学の授業料を無償化する方針です。昨年末に素案が公表されました。「子どもが 3 人以上いれば全員無償」ではなく、対象となるのは、「扶養されている子どもが 3 人以上の世帯」という案です。そもそも、子どもが 3 人未満の世帯からすれば不公平感がぬぐえません。「少子化対策」ではなく、全ての学びたい人がお金の心配なく学べるようにすること、学びの権利を守ることが求められます。



諸外国と比べて教育への公的支出が低い日本

OECD(経済協力開発機構)加盟国の中でも、日本の高等教育への公的財政支出は平均の約半分で、最下位クラスです。ヨーロッパの多くの国で教育は無償または低学費となっています。高学費の国として有名なアメリカでも、給付型奨学金が整備されています。日本も教育への支出を増やし、自治体任せにせず国の制度として高等教育の無償化を進めるべきです。ご意見をお寄せください。



私立など受験をともなう中学進学は約 28%(2023 年・荒川区) 都内私立中学校学費はいくら?

荒川区でも中学受験をするお子さんが増えています。昨年、小学校受験をして私立や国立・都立などに進学した方は約 2%なのに対し、中学受験をして進学した方は 28%です。

東京都によると 2024 年度の都内私立中学校(対象校 181 校)初年度納付金(総額)平均額は 1,009,362 円で、前年度に比べて 20,237 円(2.0%)増加。

都内私立中学校初年度納付金詳細 (平均額) 都ホームページより

	授業料	入学金	施設費	その他	初年度納付金(総額)	<参考> 検定料
6年度 (a)	503,774円	263,232円	33,685円	208,672円	1,009,362円	23,946円
5年度 (a)	492,209円	263,020円	34,137円	199,759円	989,125円	23,897円
差額 (c) (a-b)	11,565円	212円	-452円	8,913円	20,237円	49円

最高額は 2,117,800 円、最低額は 668,000 円とのことです。都に記録が残る 1980 年度以降、初めて 100 万円を超えました。初年度納付金(総額)の値上げをした学校は 56 校(30.9%)、値下げをした学校は 1 校(0.6%)、据え置いた学校は 124 校(68.5%)とのことです。